

科目コード	31540	科目名	言葉とこどもの文化（令和元年度入学生より）	単位	1
-------	-------	-----	-----------------------	----	---

次の設題について、1,500字程度でレポートを作成してください。

設 題 1

1. 言葉の育みに関わる児童文化財の種類を4つ示し、それぞれの児童文化財の特徴を述べなさい（900文字）。
2. 1であげた児童文化財の種類以外を1つ取り上げ、その児童文化財の活用の仕方を、言葉の育みという観点から述べなさい（600文字）。

※ 1と2は、はっきりと分けて（1と2の行間を2行程度あける）書くこと

— 作成の手引き —

1について

テキストから4つの種類（絵本のタイトルなどを4つ示すのではなく、絵本・紙芝居などをそれぞれの種類と考える）の児童文化財をとりあげ、それぞれの特徴を、言葉の育みという観点から述べてください。

- (1) テキストの第2章から第7章をよく読んでください。
- (2) テキストから言葉を育む児童文化財にはどのようなものがあるかを学び、4つのタイプを選択してください。
- (3) 選択したそれぞれの児童文化財の特徴をテキストから読み取りまとめてください。
- (4) それぞれの児童文化財の特徴については、バランス良く、4つともおおむね同じ程度の長さで述べてください。

900字程度にまとめてください。

2について

テキスト、第2章から第7章をよく読み、参考文献①②の「言葉」「表現」の項目を参考にして言葉の育みという視点から児童文化財の活用の仕方を考えてください。

- (1) 1で示した児童文化財以外のジャンルの児童文化財を1つ選択してください。
- (2) 選択した児童文化財が言葉の育みにどのように活用できるのかをテキスト並びに参考文献①②の領域「言葉」の「内容のとりあつかい」などを参考にしてください。

600字程度にまとめてください。

参 考 書

- ①『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 平成30年 フレーベル館
- ②『保育所保育指針解説』 厚生労働省 平成30年 フレーベル館

【学習の目的・ねらい】

- ・言葉の育みに役立つ児童文化財とはどのようなものか理解し説明できるようにする。
- ・児童文化財を利用することでどのように言葉の発達をうながすことができるのかを理解する。
- ・言葉の育みに利用できる児童文化財の使い方を理解する。
- ・言葉の発達に必要な環境、特に保育者の関わり方について理解を深める。

【学習の進め方】

- (1) テキスト第2章～第7章までを良く読み、児童文化財の種類についてまとめてください。
- (2) テキストに示されている、言葉の育みに役立つ児童文化財の特徴を読み取ってください。
- (3) 言葉の育みに役立つ児童文化財の使い方について、テキストと参考文献①②を参照しながら学んでください。
- (4) 第1章から、言葉とはどのようなものか、言葉の発達について学んでください。
- (5) 児童文化財が言葉の育みにどのように役立つか考えてください。
- (6) 以上を踏まえ、児童文化財が言葉の育みにどのように関わるのか、そしてより良く利用するための注意点を考えてください。

【学習のポイント等】

- ・言葉の育みと児童文化財の関係を理解する。
- ・児童文化財の利用の方法を理解する。
- ・他は、学習の進め方を参考にしてください。